

お知らせ

平成 23 年 12 月 15 日
井関農機株式会社

第 3 回 フード・アクション・ニッポン アワード 2011 優秀賞受賞について

昨日発表されました「第 3 回フード・アクション・ニッポン アワード 2011」の研究開発・新技術部門において、当社の「業界初 7 条刈コンバイン 『HJ7120』の開発」が優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

受賞内容

プロジェクト名
業界初 7 条刈コンバイン「HJ7120」の開発
部門
研究開発・新技術部門
選考結果
優秀賞



◇フード・アクション・ニッポン アワードとは
フード・アクション・ニッポンの展開の一環として創設され、食料自給率向上に寄与する事業者・団体等の取り組みを一般から広く募集し、優れた取り組みを表彰することにより、食料自給率向上に向けた活動を広く社会に浸透させ、私たちや未来の子供たちが安心しておいしく食べていける社会の実現を目指すものです。

[詳しくはこちらをご覧ください](#)

◇審査基準

- ・食料自給率の向上に貢献、あるいは意識の啓発に寄与している。
- ・取り組みが継続して評価されている、あるいは今後広く普及が期待できる。
- ・食育や農業・地域の活性化、環境問題への対応など、食料自給率向上以外の面でも波及効果が期待できる。
- ・先進性・独創性に優れている、等〔研究開発・新技術部門〕

業界初 7 条刈コンバイン「HJ7120」

大規模稲作農家などプロ農家向け大型コンバインの最上位機種“ジャパン”HJシリーズの中で、2010年3月に発売した一度に7列の稲を収穫できる日本で初めての7条刈コンバイン。それまではトラックへの積載寸法(横幅)の制限から6条刈が限度とされており、経営規模の拡大などのために作業効率を上げるには、高速での作業や長時間の連続運転などオペレータの技量も求められてきました。そこで当社では刈取条数を増やすことで作業速度を抑えながら高能率化を可能にするコンバインの開発に着手、幅広となった刈取部の一部脱着と折り畳みによるコンパクト化のメカニズムを採用し、トラックで圃場間を移動できるサイズで7条刈を実現しました。これにより旋回回数が減少するなど、作業速度を15%抑えても6条刈と同等以上の作業効率を達成、作業時間の短縮など生産コストの低減やオペレータの負荷軽減を促し、食料自給率向上の一助となると期待されています。 [詳しくはこちらをご覧ください](#)

当社グループは、“夢ある農業応援団！ISEKI”をスローガンに、「低コスト・省エネ機」の開発・生産・販売に加え、疎植栽培の普及・拡大などソフト面での提案も含めた「低コスト農業」の推進に積極的に取り組んでおり、この度の受賞は、前回の同部門における『疎植田植機』の優秀賞受賞に続き2年連続の受賞となりました。

今後も、全産業中7年連続特許査定率第1位の技術力をベースに、低コスト農業への挑戦を加速して儲かる農業を応援し、食料自給率向上に貢献してまいります。

【本件リリースに関するお問い合わせ先】

IR・広報室 TEL:03-5604-7709

以上



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

ISEKIは、FOOD ACTION NIPPON推進パートナーです。